

on With small number
larvae. Proc Helminth
Soc. Wash., 26,

- 4) 岩田明敏他(1954):牛肺虫の集団発生
例について(広島),日獣会誌7,458
- 5) 石井孝他(1960):島根県隠岐島に見ら
れた牛の肺虫症について、日獣会誌13,201
- 6) 伊藤伊佐夫他(1962):褐毛和牛胚育素
牛群に発生をみた肺虫症について(熊本)
第3回 家畜保健衛生業績発表会集録
- 7) 岩崎邦男他(1963):三瓶牧野の初放牧
子牛における牛肺虫病の発生と子虫の検出につい
て、畜産の研究17,1225、
- 8) 上野計他(1964):牛の肺虫症、家畜衛
生試験場年報,昭和36・37年度
- 9) 古屋孝造(1965):九州地区における牛
肺虫の分布調査、家畜衛生試験場年報、昭和38
年度
- 10) 島山丈樹他(1966):釧路村に発生した牛
肺虫症について、第14回家畜保健衛生業績発表
会演要旨
- 11) 伊東季春(1968):牛の肺虫症に関する予
防治療試験、滝川畜産試験場年報,昭和42年度
- 12) 藤田 吉(1968):牛の肺虫症、獣医界8
9,101
- 13) 鈴木恭(1969):牛肺虫の補体結合反応に
関する研究,日獣学誌(学会号)31,109
- 14) 平詔享(1969):牧野における牛肺虫の感
染状況、日獣学誌(学会号)31,109
- 15) 平詔享(1969):牛肺虫第1期子虫の検査

法について、獣畜新報505,1161

- 16) 平詔享(1970):牛肺虫の自然感染牛
に対するテトラミゾールの効果、獣畜新報,
512,136

☆三宅島における暖地牧草の地域適応性 調査

浅沼二郎、長谷川松雄

(目的)

内地においても夏枯れ対策として、夏季は
南方型牧草を経営に取り入れる例が多く見
られるようになったが、三宅島は温暖であ
るため暖地牧草の有利性が内地に増して高
いと考えられるので調査を実施した。

1、方法

(1) 供試牧草

ローズグラス、パヒヤグラス
ダリスグラス、レッドクリーピング
ケンタッキー31、ペレニアルライ

(2) 播種月日

昭和44年5月6日

(3) 栽培方法

1種類30m²、全面バラ蒔、施肥慣行
播種量 $\frac{1.5\text{kg}}{10\text{a}}$

2. 調査結果

刈刈成績 () 草丈

刈取月日	品種	ローズグラス	ケンタンキー 31フエスク	バビア ライグラス	ハセアグラス	タリスグラス	レッドクリーピング フエスク
41年 8月19日		8kg (108cm)	2.3 (38)	(29)	5.0 (61)	4.4 (45)	(25)
9月18日		5.6 (90)	(43)	(38)	2.6 (40)	8.0 (68)	(25)
12月5日		3.2 (61)	4.3 (63)	(40)	(19)	(20)	(28)
45年 4月27日		枯死	5.2 (60)	4.0 (16)	(12)	(20)	1.8 (40)
5月19日			3.5 (16)	2.2 (10)	4.6 (32)	8.5 (63)	3.1 (13)
6月20日			3.5 (46)	2.3 (40)	5.8 (58)	7.1 (70)	2.2 (42)
8月1日			3.5 (40)	0.8 (25)	11.0 (70)	8.6 (85)	1.6 (40)
8月20日			(28)	(23)	3.0 (40)	3.2 (53)	(18)
9月16日			2.3 (42)	(25)	4.7 (45)	5.2 (50)	(25)
刈取回数			5回	4	5	5	4
10a当換算 合計青刈年間収量			5400k	1590	8730	9870	2610

3. 考察

バビア、タリスともに他の北方型牧草と比較 ローズグラスは越冬しなかつた。
して耐寒性は劣つたが、よく越冬し、年間の
生草総生産量も遙かに優れていた。